

弱点の裏に隠された 自分だけの成功法則



ある“心”の悩みに答えてみました。

僕の教材やセミナーによく参加してくれているHさんからこのような質問をいただきました（個別メール相談権利を使ってくれました）。

AUN様こんにちは、Hです。
いつもありがとうございます。
個別メール相談権を使わせて下さい。

【質問事項】

中高生くらいから、色々なキャラクターの自分がいました。

- 1.誠実で優しい自分
- 2.適当な自分
- 3.傲慢で自己中心で嫌われる自分
- 4.おしゃべりでチャライ自分 など

問題は、「3.傲慢で自己中心で嫌われる自分」のキャラクターが必ずどこかにいること。

例えば、交際範囲

A(家族)

B（職場の仲間）

C(サークル)

D (旧友)

E (その他の友達)

がいるとします。

その傲慢キャラが出るのは、一定期間に交際範囲の1つだけなんです。一定期間（数か月～数年間）は、このA～Eのどこか一つでずっと「3.傲慢で自己中心で嫌われる自分」のキャラクターになってしまうんです。

その他のグループでは、まあ普通で問題はないんですね。でも、傲慢で自己中の自分は必ずどこかにいるのです。（今でもいます）

私のダークサイドだという事が、やっと理解・認識できました。

この「3.傲慢で自己中心で嫌われる自分」から卒業したいです。

- ・その為に読むべき本、マンガ
- ・やるべきワーク（紙に書き出すことに興味があります）
- ・マインドセット

などアドバイスして頂けると助かります。

よろしくお願ひします。

【目次】

1. AUN がしたアドバイス

2. 努力しないメリット

1. AUN がしたアドバイス

以下、僕がHさんに送ったアドバイスです

「傲慢で自己中心で嫌われてしまう自分」であることによって得られる

“隠されたメリット”

は何ですか？

自分自身では、嫌な側面しか見えないと思うのですが、それを長年やり続けるということは、やめられない理由が、つまり、隠されたメリットが、必ずどこかに潜んでいるということで間違いないと思います。

たとえば、傲慢で自己中心的な自分であることによって、「**自分の存在感**

を自分で再確認している」ということがあるかもしれません（あくまで例えの話）。

実は僕にも「支配的」なところがあって、「他人を支配したい」という欲求が心のどこかにあることを自分でもわかっています。

仲間といるときや彼女といるとき、家族といるときなど、別に力で押さえつけるような支配の仕方ではありませんが、例えば食事や旅行などの場面において、「お金」や「場所」の主導権を握ることで、形的には支配欲を満たしている。

そんな自分がいることに気づきます。

……という感じで、僕の場合は「支配欲」が一つ挙げられますが、Hさんの場合はそれが「傲慢さや自己中心的な態度」に当たるのかもしれない。

「プロファイリング」という教材の中で明らかにしていますが、人には例外なく「自己重要感」という本能的な欲求があります。多少の犠牲を払ってでも、自分の存在証明を自分自身にしようとしてしまうのです。

Hさんの場合は、「人に嫌われてしまう可能性」というリスクを取って、自己重要感を満たそうとしているのかもしれない。

であれば、それが隠されたメリットになります。

もちろん、これは僕の勝手な考察なので、違う理由があるのかもしれませんが、大きくは外れていないのではないかとHさんの文章を読んでいて感じた次第です。

ここでHさんがやるべきこととして、

1. 隠されたメリットに気づくこと
2. メリットを明確に認識すること
3. そのメリットを満たすための（誰も傷つけない）より良い方法を見つけること
4. メリットを満たすための手段を入れ替えること
5. 上記が腑に落ちるまで意識し続けること

を挙げたいと思います。

これまでも「ダメだダメだ」と思いながらもどうしてもその問題を改善できなかったのは、

メリットに対するデメリットのバランスが可視化されていなかった

からでしょう。

客観的にみると、「そんなリスクな投資誰もしないだろう」というようなことを、「**メリットもリスクもよくわからなかった**」という曖昧な状況によって、そこから脱却することが叶わず、

“小さなメリットのために大きなデメリットを取り続ける”

という行動をなんとなく繰り返していたのではないのでしょうか。
そのあたりを深く考えてみてほしいと思います。

では、僕からの話は以上になります。応援しています。

AUN

2. 努力しないメリット

Hさんに送ったアドバイスをもとに、もっと理解を深めていきたいと思
います。この話に関係のない人はいないはずですから。

...

現在Hさんが抱えている問題である「**傲慢で自己中心で嫌われてしまう自
分**」という問題。

これは、僕がいろんな場所で言っている「**ダークサイド**」の一種になりま

す。(Hさん自身もそう理解していますね。)

そして、僕が抱えている「**他人を支配したい欲求**」。これもダークサイドです。

※ダークサイドに関しては、下記のリンク先のコンテンツで詳しく解説されています。(理解を深めたければ、復習がてら見直してみることをお勧めしよう。)

ダークサイド—心の闇を光に変える方法—

PASS : rebi

...

「自分の意志に関係なく、どうしてもその行動を選択してしまう」

これは、それをやることの

“**隠されたメリット**”

が理解できていないからです。

「やらなければいいのにどうしてもやってしまう」

「やったほうがいいのにどうしてもやれない」

こういうことは誰にでも心当たりがあると思います。

たとえば、「行動したい！行動しなきゃ！……と書いていても、いざとなるとブレーキがかかってしまう」……こんな人は少なくありません。

「自分は何もしていないから行動しないとはじまらない」

「欲しいものを手に入れるためには行動しないといけない」

こんな風に考えてのことだと思いますが、実は、この考え方からしてもう間違っています。何もしていないから行動していないのではなく、

「何もしない」という行動を選択しているだけ

なのです。

「何もしない」という決断と、「何もしない」という行動です。

人は生きて以上何かしらの決断を常にしているし、その決断の度に何かしらの行動を生んでいるわけです。

そして、決断の基準は、

“どちらが自分にとってより大きなメリットがあるか”

ということに尽きます。

たとえば

「現状を変えて経済的・時間的・精神的自由を手に入れるにはインターネットビジネスしかない！」

こういう人はごまんといいます。

だけど、そのほとんどの人が結局、

「ネットビジネスの勉強をしない」

「ブログを書かない、メルマガも発行しない」

「つついサボってテレビやスマホに時間を使う」

「時間を作る工夫すらない」

つまり、「努力しない」という選択と行動をとってしまうわけですが、なぜそういうことになってしまうのかというと、そちらの方により大きなメリットがある（と無意識で感じている）からです。

普通に考えれば、「努力しない」ことにメリットはないように思えますが、そんなことはありません。

……とりあえず、努力「する」ことによって、待っている未来をみてみましょうか。

今の何倍もの収入

圧倒的に自由な時間

ストレスからの解放

欲しいものをなんでも買ってしまう現実

こういうものがパッと思い浮かぶかもしれませんが、まだ成功を手に入れていない多くの人にとってのそれは非現実的な話です。

つまり、具体的にイメージできないってこと。

具体的にイメージできない非現実的な結果よりも、現実的な結果を「無意識に」感じ取り、それを優先してしまうのが人間なんですね。

では、この場合の現実的な結果とはどんなものでしょうか。

- ✓ **今の環境が変わってしまう**
- ✓ **友達や家族から冷ややかな目で見られる**
- ✓ **夢破れたら傷ついてしまうし恥ずかしい**
- ✓ **ツライ努力を続けなければならない**

とまあ、こういうことを先に感じ取ってしまうんです。

ということは、ですよ。努力しないことによって得られるメリットは、、、

- ✓ **環境が変わることでのストレスを回避できる**
- ✓ **友達や家族とこれまでの関係でいられる**
- ✓ **夢を追わなければ傷つくこともないし、恥ずかしい思いをすることも
ない**
- ✓ **はじめからツライ思いや苦しい思いをせずに済む**

こういうことが挙げられるでしょう。

このレベルから脱却したいと思うのであれば、

「何もしない」メリットに、「何かする」メリットを勝たせる

これしかないです。

だからこそ、最初に、“どうしてもそれをやってしまう隠されたメリット”に気づく必要があるというわけです。そして、より長期的視野でみたときのメリットを明確にし、それを強く意識しなければなりません。

...

「ダークサイド」に話を戻します。

どうしても嘘をついてしまう

どうしても約束を破ってしまう

どうしても裏切ってしまう

どうしても悪口や陰口を言うってしまう

こういうダークサイドを持っている人は多いです。

彼ら自身、それをやるとデメリットだらけだと、心のどこかで理解しています。でも、どうしてもそれをやってしまう。それは、それをやることの“**隠されたメリット**”に気づいていないからです。

だから

「自分でも不思議なのだけど、どうしてもそうになってしまう」

というよくわからない状況に陥ってしまうんですね。

こういう混沌とした状態でダークサイドと付き合っている、人生にとってはマイナスです。デメリットの方が大きいのに、大したことの無い、きわめて短期的なメリットを選んでいるのだから当然です。

いつも言っていますが、ダークサイドがあるのは人として当然です。人としての許容ラインはありますがダークサイドがあること自体は、基本的に恥ずかしいことではないのです。

異常者でも、欠陥人間でもありません。

大事なものは、ダークサイドを消そうとすることではなく、ダークサイドから目を背けようとするだけでもなく、

ダークサイドを光の“指針”に変えること。

そのためには、繰り返しになりますが、

それをやることの隠されたメリットに気づくこと。

もっと大きくて、長期的なメリットを見出すこと。

しかありません。

その瞬間、“光”が見えるはずですが。光が見えた瞬間、ダークサイドははじめて、プラスに大きく、力強く、働き出します。

僕がHさんに送ったアドバイスをよく読んでもらうとわかると思いますが、

一見してマイナスにしか感じられないダークサイドも、考え方次第では、人生にポジティブに生かすことが可能

だということです。

僕のダークサイドである

「他人を支配したい」

この、とても他人には言えないドロドロとした欲求。どうしてもそれをやってしまう隠されたメリットとしては、

「自分に頭が上がらない他人を見ると気持ちいい、自己重要感が満たされる」

簡単に言うところのことなんだと思います。ええ、そうなのでしょう。素直に認めます（昔のそれとはずいぶん綺麗な方に変化しましたが）。

幻滅しましたか？

でも、仕方ありません。

だって人間なんだもん。

でもね、別の見方をしたとき、

「強烈なリーダーシップを取りたい」

とポジティブに解釈することができるんですよ。

そして、その先には、

『強烈なリーダーシップを発揮することで、魂でつながった仲間をできるだけ多く集め、理想とする世界に到達する、あるいは理想世界を創造する。』

こういう世界が広がっているわけです。

人生をかけて取り組むことができる、向き合うことができる、

“偉大なミッション”

につながっていることに気づくんですね。

であれば、そこからの行動は、世の中に貢献できる活動に変わります。

僕はそれに気づくことができ、まだ志半ばですが、今まさにそれを体現しています。今現在僕が体現している一連の情報発信活動がそれに当たります。

捉え方次第、扱い方次第で、(自分を含めた)人を傷つけることも、(自分を含めた)世の中に貢献することもできる。

これが、全ての人が例外なく抱えているダークサイドの正体です。全ての人間が持っている“ポテンシャル”がダークサイドなんです。

光と影は表裏一体です。光があるから影があるし、影があるということは必ず光があるということ。

人間は、基本的には、“繁栄”する方向に、「本能的に」ベクトルを向けて生きています。

全ての人間が持っているダークサイド。

全ての人間が持っているだけの意味が、世の中にとってプラスとなるポジティブな意味が、必ずそこにはあるはずなんです。

取り扱いを一步間違えると犯罪者ですが、

正しく生かすことに成功すれば英雄

です。

学問的な裏付けがあるのかと言われると、正直困るレベルですが、僕はそうしたい。そう信じたいんですよ。

いいですか？

「ダメだとわかっていながらも、うしてもその行動を選択してしまう……」

あなたにもあると思います。

であれば、どうしてもその行動を選択してしまう「理由」を考えてみてください。ダークサイドを発動させてしまう、そのメリットとデメリットを考えてみてください。

ここに、人生を輝かせるための大きなヒントが見つかるはずです。

では、今回のお話はこれで終わりです。

最後まで読んでいただきありがとうございました。

Arigato! ★ Aun

★このレポートを読まれたあなたにお勧めの製品



PROFILING—プロファイリング—

ヒトタラシコミュニケーター養成プログラム

全ての人間関係を思いのままに操り、人を虜にし、誰もが羨む人生を平然と手に入れている、世の中に1%ほどしかいない“人たらし”になるための、プロのヒトタラシコミュニケーター養成プログラム。

▶ [製品の詳細はこちら](#)